

8. 一心寺三千佛堂



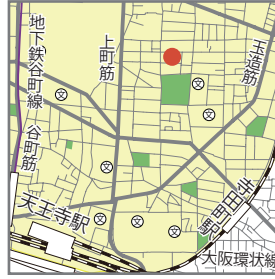
◆所在地

天王寺区逢阪2丁目6番13号

◆概要

一心寺に参詣される善男善女のために開かれた講堂として、平成14年(2002年)5月に建立された。この内部、大回廊に、千駄の佛様―「千駄佛」を21世紀中かけて順次造立奉安されていく予定である。

9. 清寿院 (関帝廟)



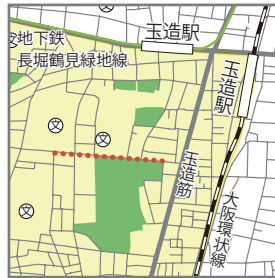
◆所在地

天王寺区勝山2丁目6番15号

◆概要

「三国志」の英雄関羽を祀り、正式には黄檗宗白駒山清寿院と言われる。中国との縁が深いため南京寺と通称されている。明和元年(1764年)12月、浄土宗住職宗円より黄檗僧大肩和尚が譲り受け、中国僧大成和尚を中興開山となし、本堂を再建して黄檗宗の末寺となった。「摂津名所図会大成」には、藁葺きの表門や一對の摩伽羅(想像上の大魚)を載せた入母屋の本堂などをうかがうことができる。明治18年(1885年)に、長崎から来阪した広東華商の利興成・同孚泰の両貿易商が発起人となり、日本人取引業者を含めた篤志家とともに本堂・拝所・表門等が中国風に改築された。大坂の文化人木村兼葎堂との交流が盛んであったと、「兼葎堂日記」に開山禅師をはじめとした交流が綴られている。

10. 真田山公園前の道



◆所在地

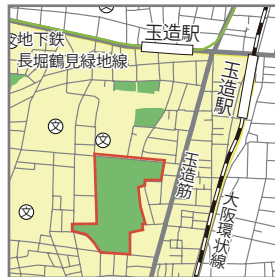
天王寺区真田山町、玉造本町付近

◆概要

真田山公園の北側の坂道は、真田山町と玉造本町との間の道を西へ入り、餌差町の伝長寺前まで約330mつづいている。真田山公園の地には、もと騎兵第四連隊があり、昭和7年(1932年)に移転した跡地が公園となった。公園北の坂道も騎兵隊移転後に整備されたものである。

上町台地に点在する文化遺産や貴重な史跡の景観を楽しみながら散歩できるみちづくりの1つである「坂道」整備により、この石畳の道も昭和59年～60年(1984年～1985年)に整備された。

11. 真田山公園



◆所在地

天王寺区真田山町5番

◆概要

騎兵第四連隊の跡地に、昭和14年(1939年)8月に開設した。戦後、占領軍に一時期接收されたが、昭和23年(1948年)に運動公園として再開園し、現在は、天王寺スポーツセンターや真田山プール(屋外50m、冬季はアイススケートリンク)、野球場、テニスコートなどの施設を備えた総合スポーツ公園として多くの市民に活用されている。

12. お寺のまち・下寺町と斜面緑地 したでらまち



◆所在地
天王寺区真田山町 5 番

◆概要
坂道や眺望点など、上町台地は大阪市内では珍しく地形変化を楽しめる場所であるが、なかでも延長 2 キロ近くの樹林帯が南北方向に連なっている「夕陽丘」は貴重である。

下寺町には、昭和 4 年（1929 年）に建設され、国の登録有形文化財に指定されている心光寺の本堂や、天正 19 年（1550 年）開基足利尊氏で、足利家の祈願所で近畿の名刹であったと言われている大蓮寺などがある。

13. 学園坂



◆所在地
天王寺区下寺町 1 丁目・2 丁目付近

◆概要
天王寺区下寺町・松屋町筋から谷町筋六万本へ通ずる坂は、上町台地の中央を南北に分断するような大きな坂である。かつて小さな道を切り開いて自動車道路として造られたものである。その後、道沿いに大阪女子学園（現在大阪夕陽丘学園）ができて学園坂とよばれるようになった。

14. 四天王寺西門前の参道 さいもん



◆所在地
天王寺区四天王寺 1 丁目 11 番

◆概要
四天王寺西門前の石畳の道であり、参道上に立つ西門前の石鳥居は国の重要文化財に指定されている。石鳥居から西門までの沿道には店舗や露店等が並んでいる。

四天王寺西門は、浄土信仰のうえで日観の聖地として位置付けられる特別な土地であり、平安時代以降、様々な階層の人々から厚い信仰を集めてきた。石鳥居はその象徴的な存在で、現世から西方浄土への入口としての役割を負う建造物である。

なお、参道については、四天王寺の参道にふさわしい、にぎわいと雰囲気づくりを目的に大阪市の修景事業により整備が行われている。

15. 大阪市立大江幼稚園



◆所在地
天王寺区四天王寺 1 丁目 11 番 108 号

◆概要
昭和 5 年（1930 年）7 月 17 日開設。平成 22 年（2010 年）に、80 周年を迎え、園舎は、戦災や災害に耐え、木造平屋建て瓦ぶき屋根の、歴史と伝統の重みと懐かしさを残している。園庭には、桜や藤などの樹木やブドウやミカン、モモ等の実のなる木があり、花壇には四季折々の花が咲く。